

おおぶ映画祭2026



～見つけてほしい、映画だから伝わること～

上映作品募集

「おおぶ映画祭」今回も「映画の可能性」をテーマに開催します！
できたての新作や「映画の可能性」を感じられる作品をお待ちしております。

募集期間 2025年9月1日（月）～10月31日（金）
映画祭本番 2026年3月14日（土）～15日（日）
愛知県大府市 愛三文化会館にて

【映画の可能性部門】（尺は問いません。）

・制作時期は問いません

【2025部門】（尺は問いません。）

・2025年1月1日～2026年2月28日までに完成あるいは完成見込みであるもの

【oneCut@scene部門】 テーマ：『告白』（尺は問いません。）

- ・「告白」をテーマに固定カメラで撮影された、1シーン、1カットの実写映画であること
- ※被写体などの動きなどに関わらず、カメラの向いている方向や画角は固定撮影であること
- ・タイトル、クレジットを入れること（作品前後でも可）
- ・制作時期は問いませんが、2025年10月末までに申込み、納品できること

以上の3部門において部門ごと、共通条件を満たせば応募が可能です。

<共通条件>

- ・上映が決定した監督は映画祭当日のトークイベントに参加すること
- ・1応募者に対し、2作品の募集までとする



応募方法など詳しくは おおぶ映画祭公式サイト の募集要項をご覧ください

公式HP → <https://www.obufilmfest.net>



作品募集に際して おおぶ映画祭からつくりてのみなさまへ

おおぶ映画祭はローカル映画祭として、つくりてや作品、そして観客のみなさんに何ができるのか、を模索し続けてきました。メジャーな映画祭のように受賞する名誉も拡散力もあり期待できない存在であることを自覚し、わざわざおおぶ映画祭に出品する意義、足を運ぶ意味を考え続け、様々なトライアンドエラーを繰り返してきました。

少しずつ見えてきたのは、つくりてたち同士のネットワーク、映画好きのための憩いの場、何より作品を通して私たちが伝えたいメッセージです。

今回のテーマに設定した「見つけてほしい、映画だから伝わること」は、映画ではなくてもいい程たくさんのコンテンツであふれる現代社会の中で、わざわざ映画をつくることの大切さや熱意、映画を観ることで見えてくるメッセージを改めて再認識したい、という想いからです。

私たちおおぶ映画祭は、これからも映画の存在の大きさを証明するためにも在り続けたいと思っています。

みなさんの作品をお借りして、改めて映画のおもしろさをこの地域に伝えていけたらと願っております。

主催：おおぶ映画祭運営事務局、フューチャーシネマプロジェクト、愛三文化会館、大府市

【お問合せ先】 おおぶ映画祭運営事務局

〒474-0056 愛知県大府市明成町1-330（愛三文化会館内）

TEL：0562-48-6151 MAIL：obu.filmfes@gmail.com